

第 5 回 地域経済建設委員会

令和 6 年 4 月 24 日（水）	開会 10 時 00 分
5 階 第 1 委員会室	閉会 10 時 39 分

午前10時00分 開会

○委員長（渡邊康弘君）

皆さん、おはようございます。時間が少し早いようですが、皆さんおそろいですので、粛々と進めさせていただきたいと思いますので、お願いいたします。

ただ今から、令和 6 年第 5 回地域経済建設委員会を開会いたします。

○委員長（渡邊康弘君）

それでは、議題に入ります。

初めに、委員会活動についてを議題といたします。

前回 4 月 2 日の委員会で、令和 6 年における委員会活動のテーマの委員長（案）を提示いたしました。この案に対して意見を元に取り組む活動スケジュールを一任いただいておりますので、決定した内容をご報告いたします。

本日は、具体的に令和 6 年の本委員会が取り組む活動スケジュールを説明していきたいと思います。

委員会で取り組むテーマを元に、本委員会で調査研究を重ね、令和 7 年 1 月までに目標を達成したいと考えております。

令和 6 年、地域経済建設委員会の活動スケジュールは、皆様にお配りしておりますが、見ていただけますでしょうか。

それでは、説明に入りたいと思います。

大きなテーマといたしまして、「瑞浪市で進むプロジェクトの理解と市民意見広聴からの政策提案」となります。

1 番、委員会の活動スケジュールというところで、大きく事業が動いているものとそうでないものが、前回とちょっと変わってるところを加えさせていただいております。

まず、瑞浪駅周辺再開発の中で、駅北公共複合施設についてを大きなテーマの一つとして進めていきたいと思っております。

目標としまして、複合施設への市民意見の反映というところになっております。

流れといたしまして、まずは 1 番として図書館、総合文化センター、駅の利用者等との意見交換をこの期間中に進めたいと思っております。意見交換が終わりましたら、聴取した意見を踏まえての議員間討議を行いたいと思っております。

その後、担当課より公募に向けた本市の取り組み状況と公募条件についての説明をしていただき

ます。

そして、政策提言に向けた議員間討議を説明の後に実施いたしまして、政策提案9月を目標に動きたいと思っております。

6番になるんですけど、事業者より設計及び施設運営等ビジョンの説明をお願いしたいと思っております。こちら、公募等の状況におきまして、令和7年2月末までにできない可能性もあるということをおっしゃっております。来年度の委員への申し送りになる可能性もあるということだけご理解いただければと思います。

これがまず瑞浪駅周辺再開発、駅北公共複合施設についてになります。

続きまして、シティプロモーションについてで、目標は事業継続の必要性の検証というふうになっております。

まず、喫緊で参加事業者との意見交換を行いたいと思っております。これは過去の参加事業者も含んで意見交換を、こちらから出向く形で考えております。調査した意見を踏まえての議員間討議を7月までに実施したいと思っております。

その後、担当課より地場産品ブラッシュアップ事業の現状と次年度以降の計画について、ヒアリングいたします。それを受けて、政策提言に向けた議員間討議を7月頃に行いたいと思っております。

最終的に、9月に政策提案を実施したいと思っております。

上2つの事業に関しましては、明確に事業が動いているのでこちらの2つの目標を設定させていただいております。

下2つになります。瑞浪駅周辺再開発（瑞浪駅南地区）について、これは7月から8月頃に委員会視察を予定しております。視察については、また後で説明させていただきます。

2番、担当課より協定締結後の駅南周辺開発の動向等について説明を11月にさせていただきます。この頃にはある程度、動向が明確になってきているというところで、そういう設定になっております。

それを受けて、今後どうしていくかというところを議員間で討議できたらと思っております。

続きまして、瑞浪市道の駅について。これも委員会視察を7月から8月頃に設定を準備しております。

担当課よりサウンディング調査後の事業全体の動向等の説明が、今、調査の意見をまとめておることなので、8月頃にはそれを説明できるということなので、そのように予定しております。

それを受けて、議員間での討議を行いたいと思っております。

もう一個、前回のときに商工会議所との将来ビジョンプロジェクトが上がってございましたが、こちらの内容について、他の委員長とも話をさせていただきました。どうしても商工会議所が窓口ですが、南地区の内容に関しまして、うちの所管外のものが非常に多いというところもありました。

ですので、広報広聴委員会を含めまして、うちの所管、テーマから外させていただいて、皆さんでそういった意見を聞けるようなことを進めていけたらという形で考えておりますので、ご理解い

ただければと思います。

それでは、2番に移らせていただきたいと思います。

今、委員会視察の候補、これは現状、候補というところで準備を進めております。

一個は千葉県鴨川市。これ千葉県鴨川市総合交流ターミナル「里のMUJI みんなみの里」について視察を行いたいと思っております。数少ない無印良品が設計段階から参入して行っている道の駅になります。

鴨川里山トラスト活動ということで、地域の保全活動を進めております。これまた地域活性化に関する協定も無印良品と結んで行っております。

道の駅設計時に、道の駅プロジェクトへの無印良品の参加という形で、この流れがあってやられているので、どういった形でやっていくのか、やられているのかっていうところを今後、瑞浪市で進めていく道の駅の参考になるのではないかとということで、視察できればと考えております。

もう一つ、千葉県大網白里市。こちらは大網駅南地区まちづくりについてという駅前再開発の準備組合のような形で立ち上がってる組織になります。こちらに対して、市が積極的に協力、協働して動いておりますので、そちらの動きについて調べていきたいと考えております。

大網駅南地区まちづくり構想について、南地区のまちづくり協議会の活動について勉強させていただけたらと思っております。

またもう一つのテーマとして、大網白里市のデジタル博物館というものを見てこれたらと思っております。この大網白里市自体は、資料館等の文化施設を持っておりませんで、経営もそういった施設の統合を進める中で、こちらはデジタルの施設のみ、デジタル博物館のみでそういった過去の文化遺産とかをやっておりますので、瑞浪市の施設は大事だと思うんですけど、保管されたものというところを積極的に市民に見ていただける環境というのは、非常に重要なのかなというのも思いましたので、どういった形で進めているのか。

また、本当に今後、こちらの市として文化施設の建設を考えているのか、いないのか。そういったものを踏まえて、いろいろ勉強できればと考えて、こちらの2市を今、挙げております。

あくまでも先方があることなので、ここの段階で予定となっておりますので、ご理解いただければと思います。

以上が年間活動予定となっております。

また、事業の進み具合であったりとか、状況によって内容が変わることもありますが、おおむねこのような形で進めていきたいと思っております。

皆さんの意見を聞きながら、臨機応変に対応できるところはそういった対応していきたいと思っておりますので、お願いいたします。

説明は以上となりますが、何か質問はありますか。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

すばらしい提案だと思って感心しておるわけですが、進める中で、これ昨年の市長選の争点

に全部被っとなるんで、その辺で進行していく中で、我々は賛成、反対の間に挟まって、どう判断していいのか分からんような場面が出てくると思うんやけど、特に一般市民との意見交換というようなところで、うまくできるかしらんっていう心配があるけど、その辺はいいですか。

委員長はどう考えていますか。

○委員長（渡邊康弘君）

そうですね。流れとしまして、市民意見の、メインは広聴というところになります。そういった中で、こういうのが必要ではないかとか、こういうことを考えられてますよとか、そういったところをまだ、公募にかける前なので、特にこの駅北複合施設に関しては。

こういった意見がありましたので、ぜひともこういったところを取り入れてほしいというのを挙げていく形になります。

私たちは予算を可決しておりますので、基本的にはそれを認めてるというところ、賛成の立場ということになりますので、しっかりと意見を聞いた上で、市民にとって、市民サービスがより良いものになるように意見を提案していくという形を取っていきたいと思っておりますので、お願いします。

3 番 加藤輔之君。

○3 番（加藤輔之君）

その現場っていうか、広聴する場で、我々に対していろいろ市民の皆さんが恐らく相当、積極的に賛成っていう人が来るとあんまり思えんのやけど、反対側にとって変わらない気はして、言い出せへんかしらんということを心配するんやけど、その辺で、あくまで聞くっていう態度で臨んで、こちらの結果よりはっていう、いつものあれかな。そういう態度で臨むんかな。

○委員長（渡邊康弘君）

意見を聞いた上で、その後に議員間討議をします。必要であれば、その議員間討議を経た上で、参加者の方には回答を出せばいいと思っておりますので、その場で安易に回答するということは、各個人の意見になってしまう可能性があるので、各議員の。そういったところは控えようかなと考えてはいます。

お願いします。

7 番 棚町 潤君。

○7 番（棚町 潤君）

多分、加藤委員がおっしゃった1の①のところなのかなと思ってるんですけど、僕もそう思ってるんですけど、図書館、総合文化センターとの意見交換っていうのは、職員さんなのか、例えば何かちょっと想像が、そんなとこかなと思ってるんですけど、駅の利用者の方との意見交換っていうのは、どういった方を対象にされるのか。

○委員長（渡邊康弘君）

これまだ調整段階なので、明確にというか、図書館、駅、総合文化センターの利用者ということになるので。

全て該当してくるというわけではないと思うんですけど、学生であつたりとか、今、調整を進めておりますので、そういった意見を聞かせていただければと思っております。

学生って、バンと閉めちゃうわけじゃなく、できる限り多くの方に来ていただけるような対応が取ればなとは考えております。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

これどういうふうで募集して、どういう形で会議を進めていくのかが、公開討論会みたいになるのか、その辺はどう考えてるか、委員長。

○委員長（渡邊康弘君）

私の考えとしては、ワークショップ形式で意見が聞けるような形ができたかなとは考えております。何十人とか、そういった大量に集めてみたいなのが、どういう形になるかは分からないんですけど、委員の皆さんと、一番ベストなことを考えてっていうことで、また5月に委員会を開いて、皆さんと意見を協議して、こんな形でやろうっていうのを決めていけたらと考えておりますので、ご協力いただければと思います。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

そうすると、ちょっとスケジュール的に僕は気になるんですけど、7月までに実施しようとする、もう公募をかけないと間に合わないタイミングなよう気がしてるんですが。

そのあたりはどのようにやられる予定ですか。もう多分、議会ちゃんねるももう発行されるし、議会ちゃんねるでの募集っていうのは難しくなってくるかなと思ってるんです。

○委員長（渡邊康弘君）

そうですね。自分も9月を目指してっていうのがあったので、かなりタイトなスケジュールになるのかなと考えてます。もう広報も終わってしまっているんで、あとは議会ちゃんねるも終わってしまってるので。

各種団体の集まる会があるときに、ちょっとその話をして、そこに参加、30分とか、1時間なり時間をいただいて、そのやつをやればなというところで今、調整を考えております。

なので、あとはそういった部分と、そういう会が終わった後にその場を設けて、ほかの人も来れるような形が取ればなと考えて。その場を、なるべく人が集まった会の後にみたいな形で、その会のときにやると、その会の運営があるので。

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

その会っていうのは、具体的に、区長会かなんかっていうことはないんですか。図書館の何かの集りや文化センターの何かの集りっていう、利用者さんのご意見をいただくというのであれば、そこら辺の形になってくるかと思うんですけど、その会っていうのはどういった会を委員長、思いがありますか。

○委員長（渡邊康弘君）

これに関して、保護者とかPTAの会とか、そういうのがありますので、そういったやつの開催であつたりとか、学校で依頼をかけるとなれば、そういった、ここだけちょっと変わってくるかもしれないんですけど、そういったところで、ちょっと調整していかないといけないかなとは考えています。

9月に向けてやらないとってなると、なかなかタイトな形になるとは思っておるんですけど、5月から準備して、7月ぐらいには開催できればなとは考えています。

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

今の委員長のお話だと、各種団体に行ったときに、そこで、その各種団体と意見交換をするという事なのか、そこに対して公募、募集のお知らせをするという。その団体を募集する場所として考えてみえるのか、その場をもう意見交換の場と考えるのか。

どちらが気に入ったと委員長はお考えなんでしょうか。

○3番（加藤輔之君）

うん、それは分らんけど。

○委員長（渡邊康弘君）

図書館、文化センター、駅の利用者等で、これ全ての人とできれば理想的なんですけど、この全ての団体にできるかどうかはまだ調整段階ですので、各種団体でできれば、個別にやっていきたいなとは思っております。

それが難しいのであれば、できるところ、図書館だけになるかもしれないし、文化センターだけになるかもしれないし、駅の利用者だけになるかもしれないですけど、そういったところとやりたいなと。

2番 大久保京子君。

○2番（大久保京子君）

確かに今、おっしゃることを私も疑問を持ってるんですけど、全体を見て、本当にタイトなスケジュールで、本当にできるのかっていうのがすごい不安があるんです。

やっぱりその辺をもうちょっとしっかりと、まだ今、話に出てる図書館の利用者だとか、総合文化センターの利用者とか、駅の利用者とか、その方々との意見の場をどういうふうに設置するかもまだこれからということで、負担がすごいなと思っているんですけど、どうですかね。

○委員長（渡邊康弘君）

そうですね。これ本当に皆さん心配されるのは、特にこの一番上の駅北の複合施設だと思います。このところの意見交換とか、参加事業者が決まっているところでやるということがポイントで、ご理解いただければできる場所なので。

1番のこの意見交換会、図書館と、総合文化センター、駅の利用者がなければ全然できる内容とは思いますが、その設定だけだとは思っているのです。

ずらしてしまうと、公募とか、そういったところの設定のときに間に合わなくなるっていうところもあって、そのタイミング、ちょっとギリギリのタイミングなんですけど、ちょっと無理してでも市民広聴というところを進めていきたいなと思っています。

4 番 榛葉利広君。

○4 番（榛葉利広君）

これシティプロモーションに関しては、参加事業者っていうことなので、良さそうな気がするんですけど、これ駅周辺再開発に関しては、あくまでもこれは利用者の意見からの意見交換会っていう感じだよな。

○委員長（渡邊康弘君）

今そうやって考えてます。

○4 番（榛葉利広君）

図書館とか文化センターに聞いても、ちょっと違うので、これは一つの提案というか、あんまり堅苦しく考えず、例えば、図書館に訪れる方を待ち伏せしとって、うちでよくやるのは、3つぐらい設問を考えとって、そこにシールを貼る。どういう要望が多いかを調べるとか、直接意見を聞いてもいいんですけど、そういう方法は割と取り組みやすいというか、そういう形のほうがひょっとしたらいいんじゃないかなと思ったんですけど。

この3つの利用者の方を集めるということ、瑞浪市ってなかなか集まらないので、実際に現場に飛び込んで、僕らが。大きいボードを持っとして、シールを貼っていつてもらおうとか、意見を聞き取るとか、っていうこともひょっとしたいんじゃないかなって思ってますけど、そんないろいろな考えは委員長もあるでしょうけど。

○委員長（渡邊康弘君）

市民の意見を聞くっていうとこなんで、榛葉委員の意見もいいと思います。

過去に、七夕まつりか何かでやってますので、皆さんのご協力がいただければ、例えば、図書館、総合文化センター、駅の利用者として七夕のタイミングとかでそういったのが出て、皆さんの意見を聞いてシールを貼ってもらうっていうやつであれば、本当にこのスケジュールでもやれるのかなとは思いますが。

○4 番（榛葉利広君）

あくまで提案です。

○6 番（三輪田幸泰君）

第7次総合計画のときに、各公民館でホワイトボードに書いてもらって、意見の集約も、一つの手かなくて。アンケート結果を公として発表していい部分云々は私も知りませんが、みんなに知らしめたっていう意味で、「大湫に行きました」、「釜戸に行きました」、「陶に行きました」、「稲津に行きました」、「ここにも来ました」、「図書館にも来ました」と、文言的に知らしめておるっていう体になる。稲津の意見っていうふうで、まとまってしまうんですけど、一定期間、ポンと置かせてもらうっていうのも一つかなって思います。

最後にこの意味合いでみんなおいでねっていうようなコメントをやって、日程調整をしたときに、物足りない人はおいでくださるものをやれば、この今の1番ですね。意見交換については、事前にもらっておくのも一つだと思います。

○委員長（渡邊康弘君）

分かりました。三輪田委員の意見ですと、各施設に、各コミュニティーとかにホワイトボード、この間のお話のようにやって、あそこで意見交換の日も告知しながら、最終的には意見交換を集まってやる、参加者が見えるのであればっていうようなイメージでよろしいですか。

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

もともとそれは委員長のこの複合施設の市民の意見の反映っていうのと、6ありますよね。事業者よりの設計及び施設運営とビジョンの説明ということで、これを5で色塗りをさせるのかどうかとなると、全然根本が違って来るんですけど、5に対して6なのか、6ありきの1なのか。それはどうなんですか。

ある程度、青写真が出とって、これしかできん、できますよっていうものなのか、ただ単に新しい施設ができますよで、皆さんに意見をくださいって、5に反映して6へ反映させるのかどうかっていう。

政策提案として、市民の意見の集約っていうのが、6に響くようにすると思うですけど、それはやっぱり1に対して、ある程度の青写真をボンと出して、こういうやつができますよっていうのは当然、知らしめて意見をいただくっていうのか、ただ単にあなたの意見はどんな図書館が作りたかったですかっていう取り方か。

この意見交換っていうのは、1に対して投げかけっていうのは、これができますよっていうものではないっていうことなんですね。

○委員長（渡邊康弘君）

市が公表してるイメージがあります。ただ、今後、入札であつたり公募がかかる中で、皆さんがどういったものがあつたらうれしいですかとか、どういった施設にしてほしいですかを、まだ公募が9月以降ぐらいを予定してるということなので、そういったところでこういった意見がありましたよっていうのをその中で見せてもらえるように声を上げていきたいと考えています。

その中で一つでも事業者が示す中で、いただいた声を反映してきましたっていうのがあれば、目標が達成できたのかなと考えています。

1番 福永泰子君。

○1番（福永泰子君）

今の三輪田委員と委員長の話だと、この3番の前に、市民の意見を吸い上げて、市民はこういうものが欲しいと思ってますよっていうことを伝えておかないと、公募する時点で、公募の条件の中にも意見が組み込まれてないといけないんじゃないのかと思うんですけど、それとはまた違って来るんですね。

もう公募してきた事業者に対して、こういうものを作ってほしいって言ったときに、もう既に市民の意見が反映されたことをやろうとするような事業者じゃないっていう。

○委員長（渡邊康弘君）

8月の段階で、公募をまだ行ってないので、こういった形で進める予定ですよってというような、こういった条件にしていく予定ですよという説明になると思います。

そういった中で、例えば、月曜日は運営してほしいよ、365日やってほしいよとか、そういったところがもし、政策提案の中で出てきたと。で、提言しましたと。それが反映した事業者になりましたよと。

なので、この条件がこんなふうになりますよって説明を受けてないと、市民で提案して、なることを提案してもっていうことになってくるので、意見を聞いて、また意見をまとめて、話を聞いて、それに向けてこれとこれが足りないんじゃないかっていうのがあれば提言をしていきたいなという流れで、この流れ組んでます。

○1番（福永泰子君）

ですよ。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

確認したいんですけど、これ公募っていうのは、プロポーザルとかでやるっていうことやったね。日程的にはまだ決まってない。

○委員長（渡邊康弘君）

まだです。今年度中っていうだけです。

○7番（棚町 潤君）

この3番の説明っていうのは、何を説明してくれるんやね。

○委員長（渡邊康弘君）

この事業者になると、大まかにどういったプロポーザル、どういったかけ方をするのか、公募を。

○7番（棚町 潤君）

かけ方するっていうのは。

○委員長（渡邊康弘君）

PPPとかPFIとか、普通にこうするとか、そういうのもまだ明確に確定はしてないですよ。そういうのがある程度、この8月ぐらいになれば説明ができますと。

申し訳ないですけど、この時点まで待ってくださいっていう話なので、その中で大まかな条件も詰めていける段階になるので、8月というところもあるっていう話を担当課との話合いの中でされてます。

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

3と6についてですけど、3で公募して、その公募条件に合った事業者さんからの説明になると、3については大方の設計というのができとるっていう体で、公募じゃないかと思うんですけど、そうするとこの政策提言っていうのが後出しで、6でまた変更なんてことはあり得んと思うんですけど、時間がないですから無理ですけど、やるなら7月に皆さんに意見を聞いて、あれが欲しい、これが欲しい、みんなこういうふうに思っとるよっていうので、この3の土俵を作り直してもらうほうが、まだ政策提言になるのかなって思いますけども。

この6で、3を示しておいて、粛々と進んどって、9月にその辺はあかんというような話になっちゃうと、またプロポーザル全然変わってくると思うんですけど。

○委員長（渡邊康弘君）

確かに三輪田委員の言われることもあるので、公募の前に最終すり合わせまでには間に合うということなんですけど、ここを、もう2番の時点で4番をやることはできるのかなと。4番をやった上で、2番というのをまとめてやって、3番の前にこういうふうにしてくれって言って、この説明ではこういう反映をしてるんだなというのも考えると思います。

しかも1番の意見交換というところも、例えば、榛葉委員と三輪田委員のやり方で、これじゃあ、身近なタイプなので、お話を聞きに行くというスタイルではなく、その案、ホワイトボードのアンケートと、図書館だったり文化センターの駅のところで、シール方式でやれば、この日程でも可能なのかなと思います。

ので、そこら辺もちょっと皆さんと検討して変更することは可能かなと思います。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

元に戻るけど、前提として、このプロジェクトが進んでるぞと。そういう中で、一般市民の皆さんでこれらのイメージを、そういう人の意見っていうのはもう一切ここでは聞かないという、そういうふうになるのかな。賛成して、こういうものを作ってほしいっていうような意見を集約するということになるのかな。

反対派が来る、入る余地がもうないわけか。前提として、進んだために理解せよっていう集りになるような気がするんやけど。

○7番（棚町 潤君）

反対する人もある一定数おるので、そういう意見は吸い上げんでいいのかっていう話ですね。

○3番（加藤輔之君）

そういうことやな。

○委員長（渡邊康弘君）

そういった意見もあるとは思いますが。

○3番（加藤輔之君）

市長選であんだけ、どこ行ってもやあやあ言われてきたので、かなりそういう意見が出てくるような気がするんやけどな。

だから、反対するな、しちゃいかんっていうふうに、門前払いにすると問題になるような気がするんやけど。

○委員長（渡邊康弘君）

それじゃあ、ちょっと、意見交換会を開くのであれば、広く意見交換会を開いたほうがいいと思います。そういった反対者の中で、なぜ反対なのかっていう意見をヒアリングするのがいいと思います。

これに対してどういった意見を言ってくるのか、非常に難しいところだと思うんですけど、議会としてはその予算を認めてるので、前に向けて進める内容で意見を発信していかないといけないと思うので、またちょっと来ていけないですよということはないのかなと思っています。

ただ、この意見交換会が難しいんじゃないかというご指摘、すごい私も分かるところで、榛葉委員からご提案いただいたシール方式だったりとか、三輪田委員がご提案いただいたホワイトボードアンケート方式、2つとも、そちらの方法のほうが確実にできるのではないかっていうのはすごい感じるので。

私が皆さんに諮って、先ほど言った意見交換会を開くのか、あとはアンケートとホワイトボードによって意見聴取するのか、もうどちらか諮った上でこの話を進めていかないと、ちょっと話がまとまらないのかなっていうのを今感じて、加藤委員のご指摘で感じてはいるんですけど。

先ほど、冒頭で話した臨機応変にというところで説明させていただいておりますので、委員の皆さんの意見をというのがあるので、もうちょっと傾聴しながらやっていきたいので。

ここで暫時休憩とさせていただきたいと思います。

午前10時38分 休憩

午前10時・分 再開

○委員長（渡邊康弘君）

休憩前に引き続き会議を続けたいと思います。

○委員長（渡邊康弘君）

皆さんと協議させていただいた瑞浪駅周辺再開発、駅北公共施設について、流れを変更したいと思います。

1番は市民意見の聴取というところで、8月の七夕まつりの際にアンケートを皆さんから取りたいと思います。そのアンケートを基に、聴取した意見を踏まえて、政策提案に向けた議員間討議を実施いたします。

政策提案を行いまして、その結果を踏まえて、担当課より公募に向けた本市の取り組みと公募条件についての説明を受けたいと思います。

最後に、公募された企業さんからの、契約事業者からの説明をというところの流れに変えたいと思いますので、よろしくお願いします。

ほかにご意見はよろしいですか。

ほかの件についてもよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかに発言もないようですので、質疑を終結したいと思います。

これで令和6年の地域経済建設委員会のスケジュールについては、これまでのまま進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今後は年間テーマ、目標の達成を目指して、委員間で協議を重ねていきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（渡邊康弘君）

次に、2、その他に移りたいと思います。

何かありませんか。

7番 棚町 潤君。

○7番（棚町 潤君）

お願いなんですけど、スケジュールが大幅に変わったので、ぜひこれ修正してもらって、もう一回入れ直してもらえるとありがたいなと思います。

○委員長（渡邊康弘君）

はい、もちろん修正案につきましては、修正した上でDropboxに配付させていただきますので、確認ください。

ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに発言もないようですので、以上をもちまして、令和6年第5回地域経済建設委員会を閉会します。

ご苦労様でした。

午前10時39分 閉会